



屋上

昔のハイジたち。屋上には『ハイジの山小屋』のほか、展望・露天風呂も



## れんげ荘の新施設長になった 高須賀泰子さん

# 『地域でのハイジ になりたい！』

### ■「あいさつ」

れんげ荘がオープンしたのは平成元年4月です。介護老人保健施設として、愛媛県では第1号で認可された施設で、今年で24年目を迎えます。

当時は、老人病院での社会的入院が問題視され、いわゆる老人病院と在宅との中間施設として注目されました。

そのためこの施設では、これからの高齢化社会を在宅で支えるためのあらゆるコンセプトが生かさ



6F

地域や子ども達との交流の場のほか、宿泊ができる研修室、ボランティアルーム、会議室がある



5F

テイルームやリハビリルーム、一般浴室フロア



2~4F

入所者の居室や食堂があるフロア



1F

在宅入浴サービスの順送式入浴装置



玄関フロアのお神輿。  
『みんなが集い、みんなで支える福祉』

れるよう設計されています。

.....

この施設で特に目を引くのが、エレベーター上屋（ベントハウス）が、アルプスの少女ハイジの山小屋を模した造りになっていることです。

『大自然の中で生きいきと  
支え合い 励まし  
共に生きる』

をモットーに、ハイジの思想が、医療や介護の分野で生かされ、更に地域包括ケアの拠点となるよう頑張っていきたいと思っています。

いつも眺めていて、ハイジの山小屋の丸い窓から雪をかぶった石鎧連峰を望むと、まさしくアルプス連峰です。

平成元年頃はまだ、れんげ荘の周辺はれんげ畑が広がり、れんげ荘

（れんげ草）の名前もピッタリ！。時代の流れと共に設立時の理念が少しぼやけてきたのは残念です。

.....

ただ単に在宅復帰といっても、利用者の病状から家庭環境に至るまで千差万別であることは申すまでもありません。そのためには、地域のまちづくり協議会はもちろん、地域包括支援センターなど、地域のあらゆる社会資源のネットワークの確立が重要になります。

私が今回施設長に任命されたのは、施設から在宅への流れの中で、『地域でのハイジ』になり得るか！ だと考えております。

何卒、ご支援のほどよろしくお願い致します。